©錦城高校新聞委員会編集室 2020
錦城高校新聞　２０２０年９月１７日（木）

コロナ禍でも楽しめる行事を

１学年運動会まであと９日

1年レクの内容が決定したことを受け、今号では球技大会実行委員によって進められている話し合いの現状や、初の行事参加となる1年生の想いを取材した。（編集部共同取材）

錦城高校新聞
３３４号
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2020

みんなでつくる
錦城高校新聞

学年別レクで1年生は運動会を開催することに。具体的な実施内容や生徒の声を取材しました

運動会の種目が決定

9月26日(土)に球技大会の代替え行事として1学年運動会が第一体育館で開催される。「勉強だけでなく行事を通しても成長してほしい」という先生方の熱意によってこの行事が考案された。

実施場所について、1学年運動会担当の上原先生は「熱中症のリスクを考慮し、エアコンのある第一体育館で行うことになりました」と話す。競技はいかだ流し、大縄跳び、台風の目の3種目。宿泊研修の運動会で行う予定だった競技の中から、熱中症や新型コロナウイルス対策を考慮したうえで、クラスの絆を深められるものを選んだという。また、これらの競技は4クラスずつに分けて行われる予定だ。

運動会を開催するにあたって欠かせない感染対策については「第一体育館に出入りする際に消毒をすること、待機中は必ずマスクを着用することを徹底して下さい」と上原先生。ただ、競技中のマスク着用については任意だという。最後に「コロナ禍ですが、クラスで団結して一喜一憂できる行事になれば嬉しいです」と話した。

	台風の目	いかだ流し	大縄跳び
グループ1	ACGH	DFJL	ABCD
グループ2	BEIL	BGHI	EFGH
グループ3	DFJK	ACEK	IJKL

台風の目といかだ流しは順位に応じて決勝リーグに進むことができる。クラス一丸となって栄光をつかみ取ろう！！

一位リーグ　二位リーグ　三位リーグ

対戦相手が決定

9月14日(月)、書道室に球技大会実行委員が集まり、運動会の説明会及び各競技の対戦相手の抽選会が行われた。

始めに、上原先生による各競技のルール説明と感染症対策の説明が行われた。感染対策について「各競技複数の待機場に各クラスを分散するほか待機場でのマスク装着、競技前後のアルコール消毒などを徹底して欲しい」と話す。さらに、多くの競技を男女別にするという。

続いて当日の各クラスの対戦相手の抽選が行われた。実行委員は抽選結果に対し、大きな盛り上がりを見せた。

説明を受け「男女別の競技が多く、なかなかクラス全体の仲を深める場が少ないのは残念です」と上田俊太朗くん（1C）。また、山下紘佑くん（1C）は「感染対策の中で皆が楽しめるか不安でしたが、これなら盛り上がっていけると思います」と語った。

優勝クラスには賞状と記念品が贈られる。この機会にクラスで一致団結し、この状況でしか味わえないものを楽しもう。

運動会開催へ期待高まる

1学年運動会の開催決定を受け、運動会の準備を中心で進めていた1年生のHR委員3人に取材した。

「クラス全員で団結して頑張りたいです」と話す芦田梨奈さん(1J)。楽しみにしている競技はいかだ流しだという。「まだまだクラス内での仲は深められると思うので、中止になった行事の分も仲を深められるようにしたいです」と思いを語った。

藤原結友くん(1J)は「1年生運動会の開催を聞いたときは素直に嬉しかったです」と話す。勝ち負けもあるが、まずは全力で運動会を楽しみたいそうだ。クラスメイトに向けて「この運動会は仲良くなるチャンスだと思うので、全員で協力して楽しみましょう」とメッセージを送った。

犬井快成くん(1K)は運動会開催を受けて「入学してから行事がなかったため嬉しいです」と話す。また、中止になった宿泊研修の種目を行うことに関しては、もうできないと思っていたためとても楽しみだという。最後に「この行事を通して、話したことがない人とも話し、行事後もさらに意識を高め合えるようにしましょう」とクラスメイトに向けてメッセージを送った。

ミニフェス発表に向けて準備中の部活

ミニフェスに向けて、準備を進めている部活に取材した。

ダンス部も発表を行う部活の一つで、28日(月)は第一体育館、29日(火)に第二体育館でステージを行う予定だ。

ダンス部部長の木戸大翔くん(2B)は、錦城祭が中止になったと聞いたときのことを「みんな下を向かずにステージのことを考えていました」と振り返る。マスクの着用や窓を開けての換気、練習後の消毒など、コロナ対策をしたうえでの練習を継続中だ。「ダンス部の発表を見て少しでも多くの人の活力になってくれたらいいなと思っています」と意気込みを語る。最後に錦城生に向けて「今年は観覧人数に限りがありますが、皆さん是非見に来てください」と話した。

9月28日(月)の発表の準備を進めているという映画研究部。当日は多目的ホールでいくつかの映像作品を上映する。

部長の齋藤天音さん(2L)は「錦城祭がなくなったと聞いたときはとても残念でしたが、発表の場が設けられると聞いたのでほっとしました」と振り返る。しかし、今年は多くの大会が中止となり、上映できる作品が例年よりも少ないという問題点も。そのため、短編の作品を急遽作成するなどの措置をとったそうだ。

齋藤さんは最後に「発表の場では、コロナに負けずに、例年に劣らないような映像体験を錦城生に届けたいです」と意気込んだ。

（燕・鷺）